

新たな「将来ビジョン」 蕨市将来構想（素案）に対するパブリック・コメント概要（案）

1. 案 件

新たな「将来ビジョン」 蕨市将来構想（素案）

2. 募集期間

令和5年9月7日（木）～令和5年9月27日（水）

3. 意見の件数（意見提出者数）

5件（3人）

4. 意見等の概要

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>蕨市においても、少子高齢化・核家族化が進んでおり、市民意識調査の結果などからも、今後子育て支援に力を入れる必要性がある。</p> <p>若い親世代が、妊娠期から安心して子ども産み育てられ、子どもたちが健やかに学び育つことができる教育環境づくりを重視していくことが大切だと考える。</p>	<p>今後の蕨市にとって、「子育て支援」が非常に重要であることは、ご指摘のとおりです。本将来構想（案）においても、「まちづくりの重点方向」の一つとして位置付けており、本文の記載でも「妊娠期からの切れ目のない支援に取り組むとともに、子どもたちが健やかに学び育つための時代に即した教育環境と、すべての子どもたちが安全で安心して暮らせる環境を整えることにより、親世代が安心して子どもを産み育てられ、そして子どもたちの未来が輝くまちをつくっていく」こととしております。</p>
2	<p>子育て支援について、蕨らしさ、地域らしさを重視しながら、地域住民の自発的な活動を支援し、人材育成に力を入れること、子どもの意見を反映するシステムをつくり、蕨の土地柄に即した教育環境を模索してこそ、選ばれる、生き残れるまちになる。</p> <p>そこに外部のノウハウを導入する際には、行政は地域住民と一緒に学び、理解を得てからとし、くれぐれも一見効率の良い外部の営利目的のサービス会社に事業を丸投げするのはやめて欲しい。</p>	<p>選ばれるまちとなるために、子育て支援や教育環境の整備が重要なことはご指摘のとおりであり、本将来構想（案）においても、「まちづくりの重点方向」の一つとして位置付けているところです。また、蕨市の強みである、市民と市がともに協力し進めてきた協働のまちづくりを引き続き進めていくことは、「目指すまちのビジョン」としても示しているとおりで。</p> <p>なお、具体的な民間導入の際の考え方などにつきましては、今後の事業実施等に当たってのご意見とさせていただきます。</p>
3	<p>高齢者について、健康寿命の延伸に向けて、心身の健康だけでなく、健幸に過ごせるように、安全で安心できる環境にやさしい蕨市であることを強く望む。</p>	<p>ご指摘のとおり、超高齢化社会が進展するなか、身体面の健康だけでなく、生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れる、「健康で幸せ」なまちづくりは、市の今後のまちづくりに当たって重要なテーマとしております。本将来構想（案）においても、「まちづくりの重点方向」の一つとして位置付け、「健康で幸せ」なまちづくりの実現（スマートウェルネスシティの実現）に取り組んでまいります。</p>

4	<p>「5 まちづくりの重点方向」の「(4) みんなにたたかかだれもが健康で住みやすいまち」では、「自分らしく生き生きと住み続けられる環境」と書かれているが、蕨市では障害のある方が住める入所施設がなく、他市の施設に転出している。こうした実態や課題について触れる必要があるのではないか。</p>	<p>「(4) みんなにたたかかだれもが健康で住みやすいまち」については、ご指摘の障害のある方も含め、すべての人たちを対象としています。</p> <p>障害のある方の入所施設等の具体的な課題等については、今後、将来ビジョンの基本計画等の策定に当たり記載の内容を検討してまいります。</p>
5	<p>外国の方が多いの蕨市の特色なので、国別の人口を載せた方がほうが良い。</p>	<p>ご指摘のとおり、外国人人口が多いことは本市の特色であり、多文化共生のまちづくりが一層必要となることは、「4 分野別の目指す姿」の「(6) 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち」で示しているとおりですが、国別の人口についての具体的な記述は、今後、基本計画等の策定に当たっての検討事項とさせていただきます。</p>